

コース29 ゆきつばき みち 雪椿の道

リーダー CL S.E. SL K.S.
 実施日 令和4年11月14日(月)
 天候 雨のち曇り グレード B上
 参加者 9人(男性 3 女性 6)
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
新津駅		7:06	
田上駅	7:17	7:35	人員確認
護摩堂山登山口	7:50	7:55	
手取ヶ淵ノ滝	8:48		道が荒れていて危険なのでパス
大沢鍾乳洞	10:55	11:55	雨止まず東屋で昼休憩、3人鍾乳洞見学
大沢山	12:10		このコースの最高点
大登峠展望所	12:45	12:50	お天気悪く眺望無し
長瀬神社、公園	14:10	14:30	大休止、トイレ、靴など洗う
加茂駅	15:37	16:07	加茂駅で解散

山行等概要(幹事のコメント)

- 山行予定日の天気予報、午後から雨予報なので翌日曇り予報なので翌日に延期。そのため7名の方がキャンセルに成りました。幹事として心痛みます。天気予報曇りなのに、田上駅を出る頃小雨に成り当たらない天気予報を恨む。
- 雨具を着けて落ち葉の中を快適に歩き鍾乳洞に着く頃、雨も本降り幸い東屋が有り、雨宿りしながら昼ご飯にしました。希望者2名と鍾乳洞を見学しました。
- このコースの最高点、角の無い三角点の有る大沢山を越え林道に出て、大登峠の展望所からはお天気悪く残念ですが眺望無し、長瀬神社への旧道は荒れていて歩き辛く、特に古い木道は苔がはたいて滑りに気を付け慎重に歩きます。
- 長瀬神社近くの公園でトイレその他で大休止の後長瀬神社に寄り加茂側に出て河川敷を歩くも通り雨に遭い急きょ雨の当たらない商店街の雁木の下を歩き加茂駅に着きとりあえず此処で解散としました。
- 今の時期お天気がコロコロ変わり実施日変更は難しいです。



「変化に富んだ雪樁の道」

1787 H.M.

11月13日日曜日に、16名の参加で予定されていたのですが、雨の予報のため翌日14日に延期となりました。月曜日ということで、9名での山行です。

朝7時17分集合16時52分散の予定です。長丁場ですので、最後まで頑張れるかなと思いつながり準備しました。5月の茶臼岳では冷たい飲み物だけ用意して失敗したので、今回はポットにお湯を入れカップ麺・カフェオレを持っていくことにしました。山行のたびに皆さんの持ち物を見て、なるほどと思いつき次回には参考にしています。

新津駅に向かう時、ポツリと雨が。今日は曇りでは・・・いやきっと晴れると祈りながら電車に乗りました。通勤通学時間帯なので、込み合う電車の中で今回のリーダーや参加者のお仲間の顔を見てほっとしたのもつかの間、田上に到着です。

田上駅前で顔合わせをして、早速出発です。護摩堂山登山口に向かう途中傘が必要なほど降って来ました。

登山口で雨具を着て、このまま雨が降り続けば早めに解散かなと思いつながらも東屋まで向かいます。朝ですが歩いている方は何人もいらっしや、「加茂まで行くんですか。がんばるね。」と、声をかけて頂きました。

雨でしっとりして、紅葉が美しいです。名前は分かりませんが、薄い黄色の葉の木がとてもきれいです。時々日もさしてきて秋を満喫できそうな予感がします。県道出合から舗装道路を歩き、「ここからは見えないけど、あの下の方に手取ヶ淵の滝がある。」と教えてもらいました。

県道から山道に入り、今日一番の急な登りになりました。鉄塔から鉄塔と3つも、辿って歩くのですが、作業道らしく階段になっており割合整備されている道です。いつの間にかお日様は隠れ、雲行が怪しくなってきました。でも、林なのでそれほど雨には当たらず、風もなく寒くはなく、真っ赤なうるしや、もみじなどを楽しんだり、立派な杉が続く街道のような所があり、時代劇の気分



歩行距離16.1kmの長丁場



護摩堂山登山口



手取ヶ淵の滝



護摩堂の東屋へ



ここから林道に



ここから急登



尾根に到着



展望所から

を味わったりしました。

村松田上線に降りた時は、結構な雨です。そこから大沢鍾乳洞入り口まで登り、東屋でお昼になりました。希望者は鍾乳洞見学ですが、それまであまり休まず歩いてきて、私は真っ暗な入り口まで下る元気がなく、ゆっくり食べたり飲んだりして休むことにしました。

中に入った人に感想を聞いたところ、「いいね」というお言葉を頂戴し、次回は入ってみようかなと思いました。

昼食後、雨に備え雨具のズボンもはき準備万端で後半に臨みました。大沢山まで緩やかに登り、大登峠に向かいました。大登峠は展望がよく、近くのきれいな紅葉の山や弥彦山など見えます。弥彦山は家の近くの田から見る姿と違い、教えてもらうまでわかりませんでした。山は見る場所によって違うという当たり前のことに気づかされました。ここは、立派な桜があり、花見にいい場所だそうです。

その後、昔多くの人々が行き交った旧道に入り、加茂の長瀬神社に向かいました。木道が濡れて滑りやすく一歩一歩気を付けて歩きました。雨もやみ、きれいな竹林などあり緩やかな道で気持ちよく歩けました。

2時過ぎには長瀬神社に到着し、雨もあがったので雨具をしまってからお参りをしました。由緒あるいい雰囲気ので、入り口の大櫓が素晴らしかったです。

加茂駅を目指して、加茂川沿いの道をサギやカモを見ながら歩いていると、また雨に降られ、最後は町の雁木の下を通り3時過ぎには駅に到着しました。

変化に富んだ季節を感じられるこんな楽しい道が、身近にあることを知ることができてうれしかったです。最後になりましたが、20km余りを、8時間も楽しく歩けたのは、会の皆さまのおかげです。感謝申し上げます。

追伸 私に紀行文を依頼すると、延期の上雨になります・・・

2度あることは」・・・身近に変化に富んだこんな楽しい道があることがわかりました。



長瀬神社にて



大沢鍾乳洞



東屋で昼食



大沢山三角点



旧道は苔



歩き辛い



長瀬神社



加茂川の河川敷

ブログ1315S.E.さんの[「YAMAPウツラ」中部北陸自然歩道・雪椿の道をご覧ください。](#)
[Ameba「ウズラの里山日記」中部北陸自然歩道・雪椿の道をご覧ください。](#)